

教 育 福 祉 委 員 会 会 議 録

開会日	令和2年9月3日（木）午前11時10分
閉会日	令和2年9月3日（木）午前11時58分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員 長 大島令子 副委員 長 なかじま和代 委 員 伊藤真規子 岡崎つよし 加藤和男 木村さゆり 野村ひろし わたなべさつ子
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 吉田一平 総務部長 中西直起 次長（行政・財政担当） 加藤英之 行政課長 若杉雅弥 教育部長 角谷俊卓 次長 山端剛史 教育総務課長 貝沼圭子 施設係長 日置桂敬  <span style="float: right;">計8人</span>
職務のため出席した者の職氏名	議長 青山直道 議会事務局長 水野敬久 専門員 村瀬紗綾香
会議録	別紙のとおり



別紙

委員長 開会宣言

議長 あいさつ

市長 あいさつ

**議案第 68 号 G I G Aスクール構想小中学校情報機器の買入れについて**

教育総務課長 議案第 68 号について説明

伊藤委員 周辺機器はリースのみで購入はしないのか。

教育総務課長 周辺機器については5年間通して使う物であり、機器の更新時などには見直しが必要になることもあると考え、購入ではなくリース契約とした。

伊藤委員 購入とリースそれぞれの単価を比較すると、購入が5万3,000円、リースが7万7,000円でリースの方が割高である。どうして購入の台数を増やさなかったか。

教育部長 国庫補助の対象が児童生徒数の3分の2と決められており、リースの利息分は補助金の対象外であるため、3分の2の台数を購入することとした。残りの台数については市費での対応となるので、一度に多額の費用をかけて購入するのではなく、5年間に分けて支出しながら使用するよう、財政担当と協議をしながらリースに決めた。

大島委員 入札執行調書を見ると、指名競争入札を行っており、12者を指名しながら、入札に参加したのは2者となっている。落札率が94.78パーセントであり、この2者では競争入札の原理が働かないのではないのか。

指名した12者はどのように選び、指名通知はいつ送付したか。

入札の辞退届が、開札日の前日までに9者から届いているが、辞退理由はどのようなか。

行政課長 長久手市一般競争入札要領の中で、1件につき設計価格が3,300万円以上の工事について指名競争入札とすると定めている。

指名業者の12者は、長久手市指名業者選定要領で、物品の納入等については3,300万円以上の場合は12者以上の事業者を指名すると定めており、長久手市入札参加者指名審査会において、指名実績などを考慮して選定した。

指名通知は7月28日に送付した。

9者の辞退届については、「納期までに対応できない」「要員の確保が困

難」との理由であった。

- 大島委員 要員の確保が困難との理由で辞退した事業者はいくつあったか。
- 行政課長 1者のみである。
- 岡崎委員 落札した教育産業株式会社の当市での実績はどのようなか。
- 教育総務課長 当市では、小中学校パソコン教室等保守管理業務委託を、5年の長期契約を結んでいる。
- また市外では、椛山女学園附属小学校や名古屋外国語大学、名古屋学芸大学のほか、三重県鳥羽市の教育委員会にも情報機器の導入実績がある。
- 岡崎委員 タブレット等は最終的にいつ学校に届くのか。
- 教育総務課長 機器の納入は1月末だが、セットアップ等、使用できるようにする作業を順次行っていく。
- 岡崎委員 教員と児童・生徒に一斉に配付するのか。
- 教育総務課長 使い始めるにあたっては、教員に対して使用方法の研修を行う。操作に慣れる必要もあるので、教員には若干早く配付した方が計画的に授業の準備ができると考えている。
- 野村委員 合計6,698台というのは、全児童・生徒数か。
- 施設係長 積算した時点における児童・生徒数と、教職員と予備の分を含む。
- 野村委員 今後、児童・生徒の数が増加すると思われるが、予備というのはその増加を見込んだものか。
- 施設係長 予備は、破損した場合の交換用と、今年度の児童・生徒数の増加分である。
- 令和3年度の児童・生徒数の増加分は見込んでいないので、別に導入する必要がある。
- 野村委員 リースの台数が増える可能性があるということか。
- 施設係長 リースにするか購入かはまだ決定していないが、新たに契約する必要がある。
- 岡崎委員 予定価格の積算に使用した単価は、どのように決めたのか。
- 施設係長 工事と異なり、県の定める単価の設定はないので、物品・周辺機器を取り扱うことができる業者から参考見積を徴収して決めた。
- 加藤委員 現状、各小中学校に10台ずつタブレットがあるとのことだが、その扱いはどのようなか。
- 施設係長 同じiPadであり、リース契約で導入している。リースの終了時期は違ってくるが、今回導入する機器と一緒に使用することになる。
- 加藤委員 導入する機器には基本ソフトは入っていると思うが、教材用に入れる新たなソフトは必要か。

- 施設係長 授業での使用方法について、GIGAスクール検討委員会の中で教員方が研究しているところであり、どのようなソフトを選択するか、どのように使用するかなど協議の上、導入することとなる。
- なかじま委員 アップルケアなどの保険には入るか。
- 施設係長 アップルケアには入らない。
- なかじま委員 精密な機械であり、子どもたちの使用状況を考えると予備だけで対応できるか心配である。アップルケアの保証だと、壊れても2,000円ほどで新品と交換してもらえる。保険に入ることは考えないか。
- 教育部長 保険料は1台あたりの金額は安価でも、6,000台余りにかけると膨大な費用がかかる。壊れた機器に対してその都度対応した方が安い場合もあるので、現在は保険の加入は考えていない。
- なかじま委員 学習塾等では、タブレットを入会時に配付し、保険については各家庭で入る形をとっているところもある。
- 今後、機器を学校から家庭へ持ち帰って使用することも考えていくとのことであったが、保険は各家庭で入るというのも選択肢の一つだと思うがどうか。
- 教育部長 学校生活で壊れてしまったものは、市が負担するべきと考える。登下校時や家庭での使用中の故障については、各家庭で保険に入ってもらおうという理屈は立つが、現状、家庭での使用についてはいろいろな課題があり検討中であり、保険加入は考えていない。
- 木村委員 令和3年度の新1年生の分は今回の導入数に入っていないとのことだが、機器を使用できるのは実質来年度からであるのに、導入数に計上しなかったのはなぜか。
- 教育部長 次年度の増級用備品については、次年度の児童・生徒数がほぼ確定する段階で、毎年12月の補正予算で認めていただいている。
- 国の補助金は、令和3年度分の児童・生徒数は対象とならない可能性もある。
- 大島委員 合計6,698台の内、児童・生徒用、教職員用、予備の内訳はどのようなか。
- 教育総務課長 購入の4,077台は全て児童・生徒用である。リースの2,621台の内、2,293台が児童・生徒用、328台が教職員用と予備である。
- 野村委員 今までパソコン室で行ってきたことが、これからは教室でできるようになる。パソコン室はどのような扱いになるのか。
- 施設係長 パソコン室についても、GIGAスクール検討委員会で協議していく。パソコン室だけでなく、タブレットでできる物は減らし、必要な物は残していくことの議論を進めている。

- 加藤委員 小学校には有線キーボード、中学校にはカバー一体型キーボードと導入機器が違うのはなぜか。
- 施設係長 検討段階で学校現場の意見を聞き取ったところ、小学校低学年はキーボードを使う頻度が少ないこと、落とす可能性が高いことが考えられ、カバー一体型キーボードよりも保護ケースをつけた方が安全に使えるという意見があったため、そのように対応することとした。
- 岡崎委員 G I G Aスクール検討委員会で、これから将来的に、家に持ち帰って使うことも想定して、いろいろなことを詳しく話し合っていくということでよいか。
- 施設係長 そのとおりである。
- 大島委員 今年1月に視察した箕面市の小学校では、低学年は文字の手書き入力、高学年はキーボード使用ができるよう、機器に違いがあったようである。今回導入する機器は、1年生から6年生まで同じ仕様のものか。
- 施設係長 全て同じものである。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論なし

賛成討論なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

委員長 委員長報告は委員長と副委員長への一任を確認。

委員長 閉会宣言

午前11時58分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和2年9月3日

教育福祉委員会委員長 大島令子